

# すみぼん 炭盆の管理方法

## 置き場所

多くの植物に共通する事は、程良い日光と風通しです。日光はなるべく直射を避け、半日陰（明るい場所）で管理してください。本来、植物は外で暮らすもの。そのため、普段過ごす（管理する）場所は室外が最適となります。風通しが良く外で季節を感じることで、植物の四季の変化を楽しめます。（春の芽吹き、夏の新緑、秋の紅葉、冬の落葉など）

※植物により管理は異なりますのでご注意ください。

## 水やり

水やりは霧吹きなどでも手軽に行えます。

ジョウロやシャワーなどを使用するとたっぷり水やりが行えます。

ほとんどの植物は毎日水やりを行いますが、育てる環境や季節などで異なります。植物によって水やり方法は異なりますが、基本は表面の土が乾いたらたっぷりとお水を与える。を繰り返すと覚えていただくと良いでしょう。

季節によって水やりの頻度も変わります。

※植物により水やり方法は異なりますのでご注意ください。

## 補足

植物に慣れていない方の中で、枯らす原因として最も多くは、毎日の日課で行う水やり。土の状態を確認しないままお水を与え続けてしまうと枯れに繋がる場合がございます。

土がまだ湿った状態で無理な水やりをしてしまうと、根腐れの原因となりますのでご注意ください。（土の乾きがわかりづらい場合は、手で触れ確認してみてください。）

## 肥料

多くの植物(一部異なります)は真夏と真冬、梅雨時期を除く期間で与えます。  
粒状または固形の緩効性肥料を根元から離れた箇所へ置きます。

水を与える度に肥料分が溶け出し、肥料効果が発揮されます。肥料が無くなり次第新しく置きます。盆栽や鉢植えの場合、即効性の液体肥料ではなく、ゆっくりと効く緩効性がお勧めです。

植物により肥料も変わります。専門店などで相談したのちご購入をお勧め致します。

## 植え替え

一般的なプラスチックポットや陶器ポットと異なり、炭ポットは小さな穴がたくさんあり、植物の根がポットの細かな穴に入り込み、炭の底や横から出てくる場合がございます。根詰まりがほぼ解消され、植え替えの頻度が少なくなるメリットがあり何年も植えたままの炭盆もございます。しかし、長期間植えたままの状態を続けた場合、植え替えする際に根を痛めることと炭の破損につながります。炭の器を長く愛用したい方はこまめな植え替えを行い、根が炭に入り込む前に根の整理をすることをお勧めします。

根が器の中に入らなくなったらワンサイズ大きな器へ植え替えしましょう。

## よくある質問

器が白くなるほとんどの原因は水道水に含まれる「カルキ」です。なでるようにブラシをかけていただくと削り落とせます。歯ブラシのようなやわらかい素材のブラシでも落とせますのでお試しください。また風通しが悪い環境でカビが発生する場合もございます。管理場所など十分にご検討ください。

## お問い合わせ

制作元

Green Gift Outdoors Nagano

〒381-2421 長野県長野市信州新町信級 4140

mail info@sumibon.com

homepage https://sumibon.com

電話 090-1262-4853

※ 育てる環境や植物により育て方は異なります。参考程度にお読みください。



炭  
盆

すみぼん